

# あびっ子クラブサポーター・青少年相談員 として活動する二人にインタビュー



子どもたちに元気をもらえて、  
私たちも支えられています

我孫子第一小学校  
あびっ子クラブサポーター  
新保 怜さん(81歳)

## サポーターとしてどんな活動をしていますか？

各小学校のあびっ子クラブではチャレンジタイムとしてさまざまな活動が行われていますが、私たちは月2回、第一小学校でパターゴルフをしています。教室内にレーンを設置して、遊びに来た子どもにやり方を教えながら一緒に楽しんでいます。

## 活動を始めたきっかけは何ですか？

私たち5人は第一小学校出身で、昭和32年卒業の同級生なんです。定年退職した後、趣味のゴルフをしながら「せっかく地元にいるんだから、地域のために何かできることはないか」と思い小学校に相談したところ、あびっ子クラブのチャレンジタイムを紹介されました。ゴルフ仲間でもある同級生に声をかけるとみんな快く参加してくれて、活動を始めて今年で16年目です。



▲第一小学校出身で、同級生のサポーター5人

## やりがいを感じるのはどんなときですか？

子どもたちがにぎやかに遊ぶ姿に元気をもらえます。登下校中や公園で子どもたちに会うと

「パターのおじいちゃん」と声をかけてくれたり、毎回楽しみに来てくれる子どももいて、うれしいですね。自分たちも休まずに参加できるよう日頃から体調に気を付けていて、この活動が日々の活力になっていると感じます。これまでに5,600人を超える子どもが参加してくれていて、そろそろここからプロゴルファーが誕生するのでは？と期待しています(笑)。

パターゴルフに使う道具は大人用のゴルフクラブを短く切って子どもが使えるようにしたり、市内のゴルフ場からボールを頂いたりしました。自分の趣味が原点にあるので、楽しみながら長く活動できているのだと思います。



▲子ども用に短くしたゴルフクラブ

## 活動の中で大変なことはありますか？

何よりも子どもたちが安全に安心して遊べる場でなければいけないので、常に気を配っていますし、時にはあいさつや道具の扱いなどのルールを厳しく教えることもあります。

## どんな方に参加してもらいたいですか？

子どもが好きであれば若くても年配でも、もちろんゴルフが趣味でなくても問題ありません。他の小学校でも囲碁や将棋、琴など、参加するサポーターの趣味や特技を生かした活動が行われています。楽しそうに遊ぶ子どもたちを見ると、この活動が今後も続いてほしいと思いますが、後継者がいないことが気がかりです。「地域のために恩返しをしたい」と思っている方は少なくないと思います。少しでも興味を持ってくれた方が、一歩踏み出して参加してくれるのをお待ちしております。

## 青少年相談員はどんな活動をしていますか？

市内各地区に分かれて行う活動と、全体で行う活動があります。これまで、全体では小学生の綱引き大会や福島県への2泊3日の青少年キャンプなどの開催、各地区ではそれぞれの担当者が企画した活動を行ってきました。震災やコロナウイルスの影響で終了した事業もありますが、令和7年度からは、市が実施していた事業を引き継ぎ「夏泊」という宿泊行事を実施しています。そのほかにもEnjoy手賀沼やげんきフェスタ、あびこ子どもまつりなどに参加し、イベントに協力しています。



## 活動を始めたきっかけは何ですか？

福祉関係の仕事をしていて、相談員の活動をしている先輩から声をかけていただいたのがきっかけです。正直初めは「大変そうだな、自分にもできるのかな」と思っていたのですが、実際に参加したら、子どもたちの笑顔がたくさん見られるのが楽しくてハマったというか。そうして参加するうちに、気付けばもう7期目で20年がたちますね。

## やりがいを感じるのはどんなときですか？

キャンプなどのイベントで、初めは不安そうな顔をしている子どもたちがすぐに打ち解けて仲良くなって、最後は「会えなくなるのが寂しい」と言いながら、ハイタッチをして別れます。楽しんでもらったのが目に見えて実感できる。これがやりがいだと思います。繰り返し参加してくれる子どももいて、まちで会うと「シガチョー！」と声をかけられます(笑)。「志賀会長」の略称でそう呼ばれるんです。さらに、参加していた子どもが大人になって相談員に加わってくれたときは、活動を続けていて本当に良かったと思いました。

## 子どもと一緒に全力で遊び、 成長を見守っています

我孫子市青少年相談員連絡協議会  
会長 志賀幸夫さん(55歳)



## 活動する上で大切にしていることはありますか？

「すべては子どもたちの笑顔のために」というスローガンのもと、親や先生とは違う地域の大人として、一緒に遊びながら見守ることを心掛けています。子どもたちと遊ぶときは私たちが全力で遊びます。以前、かくれんぼで本気で隠れたら、全然見つけてもらえず少し寂しかったこともありましたが(笑)。子どもたちには自分で考え、挑戦しながら、失敗も含めていろいろな経験をしてもらいたいです。



▲スローガンの書かれたゼッケンを着て活動しています

## どんな方に参加してもらいたいですか？

子どもと関わることが大好きだという方に参加してもらえたらうれしいです。来れるときに無理のない範囲で参加するだけでも構いません。自分の特技を生かしたいという方も大歓迎です。大工の技術を生かして子どもの遊具を作ったり、料理が得意な方がイベントで振る舞ったりと、アイデアを出し合ってさまざまな活動を行っています。

「サードプレイス(第3の居場所)」の存在は、子どもにはもちろん大人にとっても大切だと思います。私にとって青少年相談員の活動は、職場や家庭とは違う、気が合う仲間と自分らしくいられる場所になっています。そうした出会いや経験もこの活動の魅力です。ぜひ私たちの仲間になりませんか？

子どもたちのために一緒に活動する仲間を募集しています。気軽にお問い合わせください。

☎ 子ども支援課 あびっ子クラブ…内線20449、青少年相談員…内線20832